

JGAP団体認証の認証審査が行われました!

8 農産品も
経済成長も

JAようていGAP団体認証取得グループは、10月19日から21日の3日間にわたり、JGAPの更新審査を行いました。審査は、JAの施設3か所、生産者5名が抽出され、実施されました。

昨年JGAP団体認証を取得した22名と、新たに2名を加えた24名が、本年JGAP団体認証の更新審査に挑み、適合性が認められ認証を果たしました。

適切な農場管理を実践し信頼性の高い農業生産者や団体であることをアピールし、有利販売・販路拡大に向けてさらに尽力して参ります。

【担当：加藤（拓）】



認証審査を経て認証書が発行されました!

「米-1グランプリinらんこし」決勝大会が行われました!

2 米類を
中心に

8 農産品も
経済成長も

11月21日、蘭越町にて、日本一美味しいお米を決める「第10回 米-1グランプリinらんこし」の決勝大会が行われました。

開催地蘭越町から三上智祥さんがななつぼしを出品され、準グランプリに輝きました。三上さんは「これまでは金賞までしか取れていなかったのでも嬉しいです。今後はさらに上を目指して、もっと美味しいお米を作りたいです。」と受賞の喜びを話されました。

本大会の第1回から実行委員長を務める向山博さんは「どのお米もおかずがいらなくらい美味し

かったです。大会を通じて生産者の競争意識が高まり、生産技術が向上しているように感じました。全国の消費者の評価が上がれば安定した米作りを守っていくことができると思うので、本大会の知名度を上げ生産者の力になれる大会にしていきたいです。」と感想を述べられました。

今大会では道内外から295品の出品があり、後志管内からは57品が出品され、決勝には蘭越町8品、共和町1品、赤井川村1品が選ばれました。

【担当：高橋（洸）】



蘭越町 三上さんが準グランプリに輝きました!



レベルの高い戦いとなりました!